

住民の皆さんができること、行政に望むことについて意見交換しました。

	住民ができること	× (かける)	行政にしてほしいこと
災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の確認、食料の確保 ・避難所の位置の把握 ・相続登記の手続き ・避難訓練、防災訓練の実施 ・自分の命を守る  	自助・共助・公助	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所にある備蓄品の管理 ・避難場所までの道路の整備 ・古い建物の耐震工事 ・新たな避難場所の整備 ・電源の確保 
被災時の助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・道路啓開のために重機の免許を取る ・共に助け合う意識の強化(他人への思いやり) ・人との繋がりを作るため、地元で開催されるイベント等に積極的に参加する ・近所への声掛け ・みんなで炊き出し ・ボランティア ・学校で災害をテーマにした授業 		<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアの受け入れ体制の整備 
復興まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・復興の進め方を事前に勉強 ・土地の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフラインやインフラの早期復旧 ・災害公営住宅の整備 ・借りられる車の手配 ・潮江の長期浸水の解決
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリーや農業地区を活かしたい ・サンタモニカをモデルにしたまちづくりをする 		<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所の確保・支援 ・医療関係の充実 
	 <p>その他にもたくさんのご意見をいただきました</p>		

●お知らせ

ワークショップだけでなく、ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



●お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
 TEL : 088-823-9055 FAX : 088-823-9085
 Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.2 R8.2.2

潮江地区 事前復興まちづくり計画 第2回ワークショップ (潮江東小学校区) を 開催しました!

地域の方
30名参加

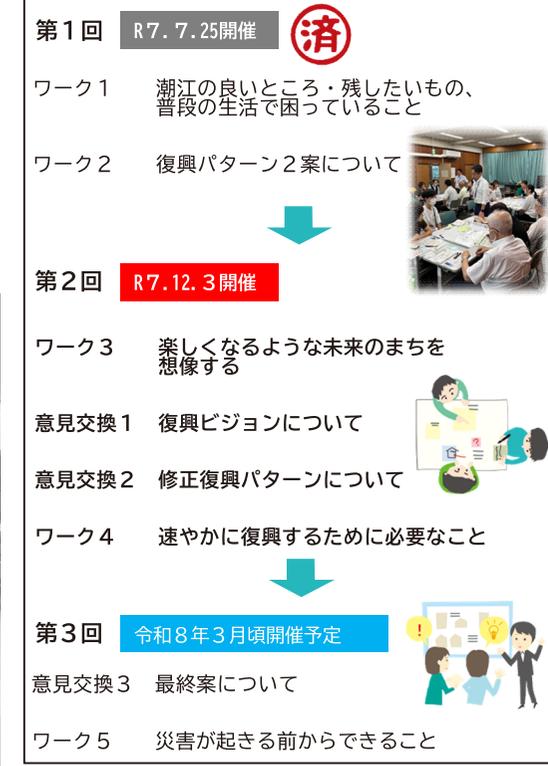
ワーク3と意見交換1は2ページ、意見交換2は3ページ、ワーク4は4ページに表示しています。

12月3日(水)、潮江市民図書館で、潮江地区事前復興まちづくり計画第2回ワークショップ(潮江東小学校区)を開催しました。ワーク3では「楽しくなるような未来のまち」、意見交換1では「潮江地区の復興ビジョン」、意見交換2では前回の復興パターンから地域の方の意見を反映した「修正復興パターン」、ワーク4では「速やかに復興するために必要なこと」について、みんなで話し合いました。



※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの進め方・内容



ワーク3 潮江地区の楽しくなるような未来のまちについて意見を共有しましょう。

【新しい体育館の活用】
・県民体育館の屋上へヘリポートを整備してほしい

【住まい】
・街を離れた人が戻ってくるように、大きなマンションを建ててほしい

【交通】
・路面電車を伸ばしたい（高知駅より北側へ）
・自転車道を一円に巡らせて利便性をよくしてほしい
・道幅を広げてほしい

【施設】
・大型ショッピングモールを作ってほしい

【その他】
・街灯を増やしてほしい
・災害ごみを集めることができる集積場を作ってほしい
・潮江地区全体を堤防で囲んでほしい

【商業・業務ゾーン】
・カフェを開催したい
・マルシェを定期的開催したい
・モルック(フィンランド発祥ゲーム)ができるようにしたい

【住宅複合ゾーン】

【住宅ゾーン】

【産業・物流・港湾ゾーン】

【わんぱくこうちの活用】
・敷地を拡大し、より多くの人が集まる施設してほしい
・パンダを連れてきてほしい

【南高校跡地の活用】
・嵩上げし、広場を作ってほしい
・スポーツ施設を作ってほしい

【川や海の活用】
・水族館などの観光スポットを作ってほしい
・川辺にカフェを作りたい
・よさこい会場を増やしたい（高知港周辺）

【楽しいまちづくりの方向・目指す効果】
・サンタモニカのような街にした
い(ヤシの木・散歩ロード・オシャレなカフェ等)
・若者の流出を抑える

意見交換1 潮江地区の復興ビジョンについて話し合いました。

各地区での第1回のご意見から復興ビジョンを3案作成し、意見交換しました。

案1 第1回ワークショップにて提示

『つながる安心 自然と共に生きるまち』

案2 「防災」と「コミュニティ」を主軸

『深まる絆 災害にも強く、安心な暮らしを未来へつなぐまち 潮江』

案3 「自然」、「都市」、「歴史」を主軸

『自然と都市が調和し、歴史の魅力に溢れたまち
～山・川・海と共に歩む潮江～』

○各班で議論したものを、発表していただきました！

・グループ1 案2を評価

地域の絆やコミュニティが重要。「災害にも強く」、「自然・山・川・海」という文言はどの地域にも当てはまる要素であるため、不要ではないか。

・グループ2 案2を評価

みんなが潮江地区に帰ってくるように明るいワードを入れたい。「深まる絆 安心な暮らし 未来へつなぐ 潮江」が良いのではないか。

・グループ3 案2を評価

「絆」と「災害に強い」が重要である。

・グループ4 案1、案2両方を評価

「自然」や「歴史」は地元からすれば重要ではないため、不要ではないか。「つながる安心 暮らしを未来へつなぐまち」が良いのではないか。

各地区の意見をまとめ、第3回ワークショップで最終的に潮江地区のビジョンお示しします。

意見交換2 修正復興パターンについて意見を共有しましょう

二線堤の位置に関する修正復興パターンについて、意見を共有しました。 →A案とC案のそれぞれ良いとする意見が出ました。

A案
・B案より広範囲に街を守ることができ、C案よりも費用が安く、事業期間が短くなるため、一番良いのではないかと
・事業費を抑えることができ、他の事業にお金を使うことができる。

B案
・住民との合意形成が難しいのではないかと

C案
・わんぱくこうちや企業の外側に整備するため、潮江地区全体を守ることができる
・日当たりや景観が悪くなる心配が無い
・事業費を減らせる工夫ができるのではないかと(事業区域の面積や堤防との関係の工夫など)
・海を埋め立てて孕東町まで伸ばしたらどうか

その他の意見
・国の補助金が交付される際、複数の復興パターンを検討していても、事業費の安い案が選ばれてしまうのではないかと
・二線堤を作ったら豪雨などで水がたまる可能性があるのではないかと(ポンプが使えない場合)

第3回へ意見反映